

「中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク」第8回本会合  
柘植芳文外務副大臣 挨拶

本日は「中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク」第8回本会合に御出席をいただき、心から御礼申し上げます。

国際社会の分断が増す中、世界は今、歴史の転換点にあります。残念ながら、世界中の様々な国・地域で、日本人の安全が脅かされうる事態が絶え間なく発生しています。

例えば、ガザ情勢等を受け、国際テロ組織がイスラエル、欧米、中東諸国の関連権益等を標的にするよう繰り返し呼びかけるなど、予断を許さない状況です。

そのような中、国際的な人の往来は回復傾向にあります。中堅・中小企業の海外展開の再活性化は、喜ばしいことではありますが、同時に海外において日本人が事件・事故に遭遇するリスクが高まり、これまで以上に、安全対策の支援を強化する必要があることも認識しなければなりません。

我が国の雇用の7割を占める中堅・中小企業の海外展開は、今後の日本経済の成長の鍵です。岸田政権の「新しい資本主義」の「グランド・デザイン」でも、中小企業による製品開発や販路開拓を含め、企業の海外ビジネス投資をサポートすることが重要であるとされています。安全対策は、まさに中堅・中小企業の海外での成功を支える屋台骨です。

本ネットワークは、2016年、7名もの尊い日本人の命が失われたダッカ事件を教訓に立ち上げられたものです。発足以来、皆様とともに、中堅・中小企業関係者が直面する課題を把握しながら、いかに安全対策の取組を促進できるか、真剣に取り組んで参りました。

国際秩序が重大な挑戦にさらされる今、このネットワークの重要性はますます増しております。安全対策を進めるには、官民の連携が不可欠です。

外務省は、タイムリーに海外の安全情報を確実にお届けしながら、参加者の皆様と手を携え、支援を更に前に進めていく所存です。私も、外務副大臣として、皆様の安全対策の強化に尽力していく考えです。

皆様におかれても、中堅・中小企業の現状やグッド・プラクティスの共有、「たびレジ」や在留届の登録など、引き続きのご協力をお願いします。また、外務省へのご要望がございましたら、お気兼ねなくお聞かせ頂きますと幸いです。

結びに、本日の会議が、日本人の海外における安全確保のために、皆様とともに考え、行動する場となることを心から祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。

(了)